



NEWS LETTER

令和6年4月 新任教員からのご挨拶

西山 由美 教授

本年度より教職キャリア高度化センターでお世話になります西山由美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。2022年度末に定年退職するまで、中学校及び高等学校で25年間、京都府中丹教育局及び京都府総合教育センター北部研修所で13年間勤務しました。

昨年度は綾部市教育委員会に務めた後、9月から綾部市立綾部中学校で教壇に立ちました。どのようにしたら生徒が意欲的に学習に取り組めるかを常に考え続けました。約20年ぶりの授業でしたが、とてもやりがいがあり楽しい日々でした。勤務最終日に、「先生、もう明日からは先生じゃないんやろ。それならLINE交換して、遊ば！」と中2女子生徒から誘われ笑ってしまいました。

これからは、私の経験を活かしつつ新たな学びを続け、北部支援を含め少しでもお役にたてるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

民岡 薫 准教授

この4月より教職キャリア高度化センターで勤務することになりました民岡です。この3月までは井手町教育委員会学校教育課に勤務しておりました。二十数年前に本学の教育学部初等教員養成課程を卒業しましたが、今回、母校に赴任できたこと大変嬉しく思っています。久々に構内を歩いていると、新しい建物もありますが、当時の面影が残るものがたくさんあり、懐かしさを感じております。これまでの小学校の勤務経験を活かしながら、京都教育大学の教育の充実に少しでも寄与できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



左：西山 由美 教授
右：民岡 薫 准教授

令和6年3月 退任教員からのご挨拶

中垣 ますみ 教授

有難うございました。北部地域創生事業として研修を通して府北部の学校や先生方を支援する取り組みは、本学の先生方のご支援ご協力なくして成り立たないものでした。「となりの京教！」を目指し、お陰様で気持ち的には近くなりましたが、物理的には近いとは言えない距離をしかも複数回ご出講をお願いしました。それでも快くお引き受けいただき、本当に有難かったです。オンライン等を活用して細やかに支援をしていただくことも有難く思いました。大学の知と実践の場をつなぐことはやりがいがあり、学校の先生たちと一緒に研修を受けながら新たな学びの楽しさも感じていました。また、私にとって本学での時間は、それまでの教員の研修だけでなく教員の養成の段階が加わり、またコロナ禍もあって、「教員とは」「学校とは」「教員の専門性とは」等について考える時間でもありました。5年間大変お世話になりました。先生方そしてスタッフの皆様方に心から感謝しています。有難うございました。

梶山 直美 准教授

コロナ禍による一斉休業状態からのスタートだった4年間の大学勤務を終えることになりました。その間、主に教員採用試験対策に関するセミナーや面談、授業スキルの基礎を実践する授業等に関わらせていただきました。初めての業務ばかりで、戸惑うこともありましたが、教職キャリア高度化センターの先生方や京都教育大学の皆様のおかげで少しでもお役に立てたと自負しています。大変お世話になり本当にありがとうございました。

めまぐるしい変化に対応していく必要のある時代にあっても、前向きに物事を捉え笑顔を絶やさず、心理的安全性の高い学校を実現し、子どもたちも教員も成長していく場にすることが今後の個人的な目標です。このように強く考えるようになったのは、ここでの経験と学びが大きく関わっています。母校である本学で勤務できる機会に恵まれたことに感謝するばかりです。これからの京都教育大学の益々の発展を心からお祈りしております。

新体制になった教職キャリア高度化センターを引き続きよろしくお願いします。



「学び続ける教員へのメッセージ」講演会の報告

今年度も「学び続ける教員へのメッセージ」として、講演会を2024年3月9日(土)対面形式で実施し、231名が参加しました。講師には東北大学大学院情報科学研究科教授、クロスアポイントメントにより東京学芸大学教育学研究科教授 堀田龍也先生をお招きしました。

2021年1月に中央教育審議会から「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方が示され、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、ICTは必要不可欠としています。この背景を踏まえて、講演会の前半は「これからのICT活用の考え方」というテーマにそって、堀田先生よりGIGAスクール構想で整備された1人1台端末の環境を有効に活用し、子どもたちが情報活用能力と新しい学び方を深めていくためのICT活用の考え方について、学校現場での事例を交えながらお話ししていただきました。

後半では、本学総務・企画担当理事副学長 浅井和行先生との対談を交えて、GIGAスクール構想で整備された1人1台端末の環境を有効に活用し、子供たちが学習経験を重ねて、情報活用能力と新しい学び方を身に付けることによって各教科等での学びを深めていくためのこれからのICT活用についての考え方を深めていただきました。

参加者からは「今後の教育現場に必須であるICTとの付き合い方、活用の方法についてより考えることができた。」「普段深く考えることのできない内容を専門の方からお話を聞くことができ、また実際の教育現場での活用方法を知ることができました。」等の声があり、たいへん好評な講演会となりました。



今年度もシンポジウムと講演会を開催予定です。詳細が決まりましたらNEWS LETTERでもご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

「令和5年度スペシャリスト等教職支援プログラム」の報告

「令和5年度スペシャリスト等教職支援プログラム」を実施しました。本プログラムは、京都府教育委員会と本学の連携事業であり、受講者は「教員免許状を有していないが特別免許状の要件を満たすもの」として採用の内定された方、またそれに準じた方を対象としています。内容は、人権、学習指導、児童生徒理解に関するものを中心とし、オンデマンド型研修と対面研修とを組み合わせた研修としています。

オンデマンド型研修動画については、「GIGAスクール構想と学習者主体の授業」（大久保紀一郎 講師）と「学習指導要領の改訂のポイント（高等学校専門教科「農業）」」（原田信一 教授）が新たに作成されました。対面研修は、2024年3月2日（土）に実施しました。研修内容は、「生徒理解について（特別支援教育の観点から）」（講師：鈴木英太 講師）、「『聴く』ことについて」（講師：中垣ますみ 教授）と「教員としてスタートするにあたって」（講師：吉川孝 教授）でした。受講者の感想には「このタイミングで生徒への向き合い方を中心に理論や実践を学ぶことができてよかった」、「4月から教員になる上で、何を気にしていくか、どうやって自身の成長につなげていくかを考えるきっかけになった」などがあり、4月からの教員生活に向けて、前向きに考える機会となりました。

● 所属教員

機構長	榑原 禎宏
センター長	原田 信一
センター次長	市田 克利 樋口 とみ子

専任教員	西山 由美 吉川 孝 山下 和美 民岡 薫 米澤 武史 大久保 紀一郎
------	--

兼任教員	小山 宏之 相澤 雅文
------	----------------

● 連絡先

ボランティアオフィス （月～水・金 10:30～13:30、木 10:30～14:30）	
スポーツ指導者養成オフィス （月～金 10:00～13:00、14:00～15:00）	075-644-8336
事務担当 （学術研究支援課研究支援グループ）	075-644-8143
	075-644-8846/8793